

海外留学部門活動報告

国際教育交流センター海外留学部門

岩城 奈巳・星野 晶成・宮崎 千穂・河嶋 春菜・孝森 めぐみ

はじめに

海外留学部門における平成29年度の活動を「1. 情報提供」, 「2. 学生指導」, 「3. 語学強化の取り組み」, 「4. 海外の協定校に関する情報収集」, 「5. 新たな取り組みとその他留学促進に関する活動」に分けて紹介し、最後に来年度に向けての課題を提示する。

1. 情報提供

海外留学部門における情報提供活動は、各種留学説明会（留学プログラム別、学部・研究科別、学位留学、保護者対象、奨学金など）、Webサイト、メール配信、フェイスブック、パンフレットスタンド、学内掲示、帰国報告書や留学関連の図書貸出などを通して行っている。メール配信登録者は887名、フェイスブック（アカウント名：名大海外留学室）登録者は798名である（平成30年3月現在）。平成29年度に開催した各種情報提供は表1の通りであり、実施したイベントに計4424名の学生が参加した。

2. 学生指導

1) 個別相談

今年度の個別相談は1064件であった。基本的に個別相談は予約制であるが、お昼休み、授業後などの飛び込み相談も多く、件数に入っていない対応も多い。また、電話でも簡単な相談には対応している。

2) 派遣学生に対する指導

〈全学間協定に基づく交換留学〉

・平成29年度派遣について

全学間協定に基づく交換留学によって今年度派遣される予定の学生に対し、出願から出発までの支援と指導を行った。派遣学生の一覧は表4の通りである。

・平成29年度〈秋派遣〉について

来年度派遣分の交換留学生（全学間協定に基づくもの）については、7月の説明会より応募開始とした。今回募集した受け入れ協定校は資料1の通りであり、27件の応募があった。そのうち、書類選考合格者は23名であった。その後、2名が面接を辞退し、交換留学実施委員会で構成される選考部会において個別面接を行った結果、20名の交換留学候補者を選出し、（1名不合格）候補者となった。さらに枠が空いている協定校について二次募集を行ったところ、19名の応募があり、書類審査で18名が合格、面接にて全員追加合格となった。その後、1名がIELTSスコア取得することができず辞退したため、計37名の学生が秋派遣候補生となった。交換留学候補の所属部局、学年（応募時）は表4（右半分）の通りである。また、候補者決定通知の後、留学準備期間の過ごし方についてのオリエンテーションを行い、早い段階から留学生としての自覚を促し自立心をもって準備に取り組むよう、説明した。このオリエンテーションでは留学先は異なっても、留学同期生と出会い、ネットワークを構築させ、情報交換を促進させることを同時に目指している。

・平成28年度〈春派遣〉について

募集した受け入れ協定校は資料2の通りであり、7件の応募があった。面接の結果、5名合格したが、1名は語学スコアを取得できなかったため、辞退し、4名の派遣となった。選考方法、決定後のオリエンテーション実施は秋派遣と同様である（秋派遣参照）。

・〈全学教養科目の展開〉

平成26年度のスーパーグローバル大学創成事業申請・採択に伴い、NU-OTI (Nagoya University Overseas Take-off Initiative) という標語を掲げ、平成27年度より教養教育院から、海外で学外活動を行う全学教養科目を開講した。平成29年度は、合わせて5つの科目を開

講し、それぞれ学内および学外（海外）での学習を合わせた教養学習として構成した。米国、ウズベキスタン、モンゴルで学外活動を実施する科目については春学期より夏休みにわたり、韓国および欧州（ドイツ・フランス）で学外活動を実施する科目については秋学期より春休みにわたり、授業を実施した。春学期開講の「アジア現代事情」は本年度初めてモンゴルを研修先として開講した。また、秋学期には、従来ノースカロライナ州立大学のみを研修先としてきた「米国の大学生活」の科目を、オレゴン大学の協力を得て開講した。

NU-OTI 全学教養科目は、それぞれ異なる到達目標と内容を設定している。春学期開講の科目について、米国科目は大学生活の体験、ウズベキスタン科目はフィールドワーク、モンゴル科目は現地学生との相互学習を授業目標として、秋学期開講の東アジア科目と欧州科目は海外で外国語を用いて日本文化を発表することを目標とした。授業内容として、例えば、東アジア科目と欧州科目では、履修生が渡航前にプレゼンテーションの方法を体系的に学び、副担当教員から各自の設定したテーマと学習計画に沿って指導を受けることのできるカリキュラムを作成した。いずれの科目でも、帰国後の授業において口頭報告を実施し、授業全体を振り返った。学内外で授業目標を達成できるような授業運営を行うことができた。

平成29年度は、全学教育科目の枠組みにおいて、あわせて90名の学生を海外へ派遣した。各科目とも、教育効果および危機管理のため、副担当教員が事前に海外での活動先の視察を行い、本学海外事務所の教職員との協力体制のもとで科目を実施したことが一定の成果につながったと考えられる。平成30年度は、授業科目の更なる充実と展開を目指し、タイで学外活動を実施する科目も本部門が担当する予定である。

・〈特別海外研修〉

渡航前学習と語学研修を合わせた海外研修プログラムである。平成29年度は、春学期にカナダのカルガリー大学、秋学期にエジンバラ大学での研修を実施した。平成30年度の春学期は、オーストラリアのモナシユ大学とフランスのエクスマルセイユ大学での研修を、秋学期にはエジンバラ大学での研修をそれぞれ予定している。

・〈協定校主催の短期研修〉

平成28年度は、夏・春合わせて、8プログラムに19名の学生が参加した（詳細は表5を参照）。

〈安全危機管理〉

平成29年度は、全学生向けの危機管理オリエンテーションを、合計7回（春学期:2017年6月12日、28日、7月10日、26日、秋学期12月6日、13日、2018年1月17日）実施した。具体的には、渡航前の準備、渡航中の安全対策、海外旅行保険加入、テロ対策、そして、緊急時の連絡体制について、案内と指導を行った。今年度は全学生対象のオリエンテーション以外に、要望があった部局の海外留学プログラムに対して出張講義の形でも実施した。また、昨年同様、名古屋大学生協の旅行カウンターとも協働して、個人で渡航する学生に対してもオリエンテーションへの参加を促した。結果、全7回と部局で実施した出張講義の合計出席者数は411名（昨年度150名）を超えた。なお、NU-OTI 全学教養科目に参加する学生に対しては、研修前の授業の一部として各担当教員が、その国に特化した内容を含めて危機管理オリエンテーションを実施した。また、今年度は、海外リスク管理担当参事を迎え、安全危機管理オリエンテーションへの助言、および学内の安全危機管理体制の構築を行った。

全学教養科目特別講義授業名	海外拠点名	学外活動他
米国の大学生活・海外研修	Nagoya University Technology Partnership	米国（協定校：ノースカロライナ州立大学）
シルクロードの文化・海外研修	ウズベキスタン事務所	ウズベキスタン（協定校：タシケント国立法科大学、世界経済外交大学、サマルカンド国立大学）
アジア現代事情・海外研修	モンゴル事務所	モンゴル（協定校：モンゴル国立大学、モンゴル科学技術大学）
東アジアにおける文化・海外研修	—	大韓民国（協定校：木浦大学校）
欧州における文化・海外研修	ヨーロッパセンター	ドイツ・フランス（協定校：フライブルグ大学、ランス大学）
米国の大学生活・海外研修	—	米国（協定校：オレゴン大学）

〈名古屋大学長期留学支援プログラム（大学院留学型）〉
今年度は、2名の学生より応募があった。1名が合格したが、申請時から大学の変更があったため、再審査中である。結果は来年度の紀要にて報告する。

3. 語学強化の取り組み

〈特別英語セミナー〉

前期に特別英語セミナーを開講した。この講義は、TOEFL-iBTの特にライティングに特化して開講するもので、全学の留学希望者に向けて開講している。今年度は受講した1名の学生がオーストラリアへ交換留学、1名の学生がノースカロライナ州立大にて開催した全学教養科目の研修に参加した。

〈留学準備 IELTS 講座（夏・春）〉

昨年度まで、夏期は IELTS、春期は TOEFL-iBT の留学準備講座を実施していたが、名大生の IELTS 受験人口が増加しているのと業務簡素化のため、夏期と春期の両方で IELTS の講座を実施した。昨年度と同様に大学改革経費からの支出、愛知教育大学・三重大学・名古屋大学の三大学連携事業として、IELTS 対策と留学準備を含めて、夏期は8月21日から9月1日、春期は2月13日から27日の期間で実施した。受講者は計45名（夏：27名、春：18名）で、全学間または部局間交換留学に出願したい学生が参加し、岐阜大学から3名、三重大学からは4名の学生が受講した。

4. 海外の協定校に関する情報収集

海外留学に関する情報収集活動は以下の通りである。

- ・ 4/10 オスロ大学関係者来訪
- ・ 4/12 オレゴン大学関係者来訪
- ・ 4/12 トール大学、ポワティエ大学
- ・ 4/21 モナシュ大学関係者来訪
- ・ 5/19 南イリノイ大学関係者来訪
- ・ 5/28-6/3 NAFSA 年次総会@ロサンゼルス
- ・ 6/2 モンテレイ工科大学関係者来訪
- ・ 7/18 ステレンボッシュ大学関係者来訪
- ・ 7/3 ノースカロライナ州立大学関係者来訪
- ・ 9/22 西オーストラリア大学関係者来訪
- ・ 9/27 米国名古屋領事来訪

- ・ 10/11 オレゴン大学関係者来訪
- ・ 10/11 UNSW 大学関係者来訪
- ・ 10/19 セントアンドリュース大学関係者来訪
- ・ 10/19 ランス大学関係者来訪
- ・ 10/23 モナシュ大学関係者来訪
- ・ 10/25 シェフィールド大学関係者来訪
- ・ 10/27 オーフス大学関係者来訪
- ・ 1/11 APRU 事務局来訪
- ・ 1/22 CUNY 関係者来訪
- ・ 2/7 ウズベキスタン事務所来訪
- ・ 2/9 シンガポール国立大学関係者来訪
- ・ 2/20 アーヘン工科大学関係者来訪
- ・ 3/24-29 APAIE 年次総会@シンガポール

〈NAFSA および APAIE ブース出展〉

昨年度から引き続き、国際プログラム部門（旧留学生受入部門：NUPACE）と協働し、名古屋大学としてブースを出展した。現協定校担当者との交換留学プログラムについての調整・議論（特に交流人数が偏っている大学とこれまで交換実績が少ない大学を中心に）や、新規協定校候補とのプログラム内容や協定書に関する議論・交渉、セッション等へ参加し、国際教育交流の情報収集を行った。NAFSA では、主に米国の協定校とのメンテナンスをし、新規協定候補校として、City University of New York と協議した。APAIE では、新規協定候補校として、イギリスのサセックス大学、オランダのラドバウド大学、ドイツのシュツットガルト大学などと協議した。

5. 新たな取り組みおよびその他留学促進に関する活動

以上に詳述した活動と並行して、海外大学との新たな学生交流協定の締結に向けた協議を行ってきた。その結果、本年度は、以下の海外大学と学生交流協定を締結した。

〈留学写真展「写真で綴る留学ストーリー」〉

主に1、2年生を対象とした広報活動を行うことによって中長期留学を目指す学生数の増加をはかることを趣旨とし、昨年度に引き続き「写真で綴る留学ストーリー」と題する写真展を実施した。留学の様子がわかる写真を学生から募りパネルを制作し、それを、

国名	大学名	種別	授業料 不徴収	締結年月日
シンガポール	シンガポールマネジメント大学	全学間	有	2018年01月17日
米国	オレゴン大学	全学間	有	2017年12月07日
オランダ	トゥエンテ大学	全学間	有	2017年07月18日
イギリス	グラム大学	全学間	有	2017年07月08日

中央図書館ビブリオサロンにて展示する催しを2回実施し、計469名の来場者を数えた。1回目(6/30-7/7)は主に新入生に向けて開催し、98名の来場者があった。2回目(8/8-8/25)は試験対策で図書館に通う在校生とオープンキャンパスに参加する高校生に向けて開催したところ、来場者は371名であった。オープンキャンパス開催中の来場者数は8/8(火)10名、8/9(水)14名、8/10(木)68名であり、最終日の木曜日の来場者が一番多かった。尚、人数集計は、平成29年度より、ビブリオサロンに設置されている入館者カウンターを利用できるようになり、より正確な来場者数を計測できるようになった。

おわりに：今年度の総括と来年度への課題

例年通り、留学に関する説明会やオリエンテーションを数多く実施し、多くの学生に情報発信することができた。短期での学生派遣は全学教養科目、特別海外研修、協定校研修の3つの枠組みで実施したところ、前年同様の数を達成し、さらに履修・参加学生が長期留学に目を向けつつある。一方で、交換留学生数は昨年度と比較して期待したほど数は伸びなかった。そこで、英語圏以外への留学に関心のある学生に対する支援を強化するため、国別に説明会を実施や個別に協定校紹介をして派遣人数を伸ばしていく予定である。また、平成30年度から留学準備フランス語講座を実施する計画である。来年度も、さらに多くの学生の履修に繋がるよう努力していきたい。

表1 平成28年度 セミナー・説明会・オリエンテーション等開催記録

内容	日時	計
新入生ガイダンス	4/6	2250
海外留学入門セミナー（前期）	計13回（4/11-7/4）	127
留学説明会（交換留学春派遣）	4/19.26, 5/10	34
留学説明会（交換留学秋派遣）	7/5.11, 8/7	26
留学説明会（短期研修夏）	4/13.20.27, 5/11	131
留学説明会（短期夏：モナシュGPP）	4/21	15
留学説明会（短期夏：ガジヤマダ&フライブルク大学）	5/31	4
留学説明会（法学部）	4/17	5
留学説明会（工学部）	4/24	98
留学説明会（経済学部）	4/19	40
留学説明会（情報学部）	4/26	8
留学説明会（農学部）	4/27	25
留学説明会（文学部）	5/10	10
留学説明会（理学部）	5/10	16
留学説明会（医学部保健学科）	5/12	1
留学説明会（保護者対象）	5/14	253
留学説明会（オープンキャンパス）	8/9.10	622
留学説明会（IELTS・夏）	5/10, 6/14, 7/12	16
留学準備講座（IELTS・夏）	8/21-9/1	27
モンゴル留学生交流会（アジア現代事情）	5/10	8
NCSU 留学生交流会（米国の学生生活）	7/20.26	14
安全・危機管理オリエンテーション（前期）	6/12.28, 7/5.10	141
安全・危機管理オリエンテーション（Well-being Program）	7/5	9
交換留学秋派遣：Pre-departure seminar	6/12.13	36
交換留学春派遣：オリエンテーション①②	7/7.24	5
交換留学秋派遣：オリエンテーション③④	4/19, 7/12	36
留学写真展	6/30-7/7, 7/28-8/15	469
留学フェア（留学のとびら主催）	7/5	40
海外留学入門セミナー（後期）	計15回（10/3-1/23）	36
留学説明会（全学教養・特別研修合同説明会）	10/5.12	71
留学説明会（科目別説明会／韓国）	10/19.26, 11/2	7
留学説明会（科目別説明会／欧州）	10/19.26, 11/2	12
留学説明会（科目別説明会／米国）	10/19.26, 11/2	22
留学説明会（交換留学秋派遣2次募集）	12/6	12
留学説明会（スコットランド特別研修）	10/13	11
留学説明会（協定校語学研修／南イリノイ）	11/16.22	1
留学説明会（CIEE主催）海外ボランティア	10/24	13
留学説明会（米国大学院学生会主催）	12/20	42
特別講演会（東海東京財団グローバル教育推進事業）	11/17	23
留学準備講座説明会（IELTS・春）	10/30, 11/27, 12/18	4
留学準備講座（IELTS・春）	2/13-2/27	15
交換留学春派遣：オリエンテーション③④	10/4, 12/11	4
交換留学秋派遣：オリエンテーション①②	12/8, 2/13	38
留学シンポジウム&海外留学室同窓会	12/11	65
中谷 RIES フェローシップ2018説明会	12/13	5
危機管理オリエンテーション（後期）	12/6, 12/13, 1/17	58
危機管理オリエンテーション（部局・プログラム別）	10/23, 11/6, 12/18.20, 1/20	135
フランス語圏留学交流会	1/16	12
モナシュ大学英語研修説明会	2/14	6

表2 平成29年度 海外留学入門セミナー月別出席者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
参加者数	86	28	7	6	0	0	19	6	3	8	0	0	163

表3 平成29年度 海外留学個人相談月別利用件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計	122	115	52	63	62	65	150	69	60	64	82	61	965

表4 全学間学術交流協定に基づく交換留学生の派遣予定数

*学部研究科・学年はすべて応募時の所属に基づきます

表4-a 平成29年度秋派遣 計36名

地域	国	大学	学部・研究科	学年
アジア 8名	シンガポール	南洋理工大学	経済学部	U3
	タイ	カセサート大学	農学部	U3
		カセサート大学	農学部	U2
	中国	香港中文大学	情報文化学部	U2
		香港中文大学	経済学部	U2
		復旦大学	法学部	U2
		北京大学	国際言語文化研究科	M1
	北京大学	法学部	U3	
ヨーロッパ 18名	イギリス	リーズ大学	法学部	U2
		リーズ大学	法学部	U2
		リーズ大学	医学部	U3
	イタリア	ボローニャ大学	経済学部	U3
	スイス	ジュネーブ大学	情報文化学部	U2
	スウェーデン	ウプサラ大学	法学部	U2
		ウプサラ大学	情報文化学部	U2
		スウェーデン王立工科大学	工学部	U4
	デンマーク	コペンハーゲン大学	文学部	U2
		コペンハーゲン大学	文学部	U2
	ドイツ	ミュンヘン工科大学	工学部	U4
	ノルウェー	オスロ大学	法学部	U2
		オスロ大学	経済学部	U3
		オスロ大学	文学部	U2
	フランス	ストラスブール大学	国際開発研究科	M2
		パリ・デイドロ大学 (パリ第7大学)	経済学研究科	D2
		リヨン第3大学	文学部	U2
		リヨン第3大学	文学部	U2
北米 10名	アメリカ	アイオワ州立大学	農学部	U2
		シンシナティ大学	情報文化学部	U1
		シンシナティ大学	工学部	U2
		ニューヨーク大学	法学部	U3
		フロリダ大学	情報文化学部	U2
		フロリダ大学	文学部	U2
		ミネソタ大学	教育学部	U2
		ミネソタ大学	農学部	U3
		南イリノイ大学カーボンデール校	工学部	U4
	カナダ	オタワ大学	法学部	U2

表4-b 平成29年度春派遣 計4名

地域	国	大学	学部・研究科	学年
アジア 1名	韓国	梨花女子大学校	文学部	U2
オセアニア 3名	オーストラリア	フリンダース大学	医学系研究科	D2
		アデレード大学	経済学部	U3
		南オーストラリア大学	工学部	U3

表4-c 平成30年度秋派遣 計37名（予定）

地域	国	大学	学部・研究科	学年
アジア 7名	インド	インド科学大学院大学	工学研究科	M1
	インドネシア	ガジャマダ大学	生命農学研究科	D1
	シンガポール	南洋理工大學	文学部	U2
		シンガポールマネジメント大学	経済学部	U2
	タイ	カセサート大学	経済学部	U3
	中国	香港大学	法学研究科	M1
		香港中文大學	法学研究科	M1
ヨーロッパ 17名	イギリス	ウォリック大学	文学部	U2
		グラム大学	国際開発研究科	M1
	リーズ大学	リーズ大学	人文学研究科	M1
		リーズ大学	工学部	U4
	リーズ大学	リーズ大学	医学部保健学科	U2
		ロンドン大学東洋アフリカ学院	国際開発研究科	M2
	スウェーデン	ウプサラ大学	教育学部	U2
		ウプサラ大学	法学部	U2
	スペイン	バルセロナ大学	文学部	U2
	デンマーク	コペンハーゲン大学	教育発達科学研究科	M1
		コペンハーゲン大学	経済学部	U3
	ドイツ	ミュンヘン工科大学	経済学部	U3
	ノルウェー	オスロ大学	法学部	U4
	フランス	ボンゼシヨセ工科大学	工学部	U2
		ストラスブール大学	人文学研究科	M1
ストラスブール大学		人文学研究科	M1	
ベルギー		ルーヴァン・カトリック大学	経済学部	U4
北米 13名	アメリカ	アイオワ州立大学	教育学部	U2
		オレゴン大学	法学部	U2
	シンシナティ大学	シンシナティ大学	経済学研究科	D1
		シンシナティ大学	経済学部	U3
	ノースカロライナ州立大学	環境学研究科	M1	
	ノースカロライナ州立大学	工学部	U4	
	ノースカロライナ州立大学	経済学部	U2	
	ノースカロライナ州立大学	工学部	U1	
	フロリダ大学	教育学部	U3	
	フロリダ大学	教育学部	U2	
	南イリノイ大学カーボンデール校	文学部	U3	
	ミネソタ大学	工学部	U2	
	ミネソタ大学	教育学部	U2	

表5 短期研修プログラム参加者数

	科目名・大学名など	国名	27年	28年	29年	プログラム種別 (H29年度)
			人数	人数	人数	
夏期	米国の大学生生活（ノースカロライナ大学）	米国	34	23	24	全学教養科目
	シルクロードの文化	ウズベキスタン	11	7	10	全学教養科目
	アジア現代事情	モンゴル			11	全学教養科目・新規
	同済大学	中国	12	10	10	言語文化Ⅲ
	ガジャマダ大学	インドネシア	5	2	1	特別研修
	モナシュ大学（GPP）	豪州	4	19	11	特別研修3名＋総長顕彰8名
	モナシュ大学（ME）	豪州				H27から休止
	カルガリー大学8月	カナダ			10	特別研修・新規
	フライブルク大学	独国	28	4	12	協定校プログラム
	ロンドン大学アジアアフリカ学院	英国	—	1	—	協定校プログラム
	上海交通大学	中国	—	2	—	協定校プログラム
	同済大学ワークショップ	中国	4	—	—	協定校プログラム
	東北大学	中国	—	2	0	協定校プログラム
	梨花女子大学校	韓国	4	3	2	協定校プログラム
	国立中正大学	台湾	1	2	1	協定校プログラム
	香港中文大学	中国	0	2	0	協定校プログラム
	カルガリー大学9月	カナダ			1	協定校プログラム
春期	漢陽大学	韓国	0	—	1	協定校プログラム
	東アジアにおける文化	韓国		9	5	全学教養科目
	欧州における文化	仏・独		16	16	全学教養科目
	米国の大学生生活（オレゴン大学）	米国			24	全学教養科目・新規
	東南アジアにおけるビジネスキャリア	タイ	9	6	11	全学教養科目
	モナシュ大学	豪州	28	14	9	言語文化Ⅲ
	フライブルク大学（独語）	独国	20	20	19	言語文化Ⅲ
	ストラスブール大学	仏国	0	0	20	言語文化Ⅲ
	スコットランド特別研修	英国	11	11	12	特別研修
	ケンブリッジ大学セントジョンズカレッジ	英国	—	—	6	学生交流プログラム
	フライブルク大学（英語）	独国	4	3	4	協定校プログラム
	南イリノイ大学カーボンデール校	米国	—	—	2	協定校プログラム・新規
	国立台湾大学	台湾	0	—	1	協定校プログラム
	合計		175	156	223	